

活動事例

十二支のおはなし (紙芝居)



この活動案の特徴

- 主に3歳以上から小学校中学年くらいまでを対象に想定した内容です。
- 多言語で動物の名前や鳴き声のオノマトペに親しむことができます。
- 日本の干支の文化を知ることができます。

A 準備

(1) 参加者	
(2) 使用言語	
(3) 場 所	
(4) 日 時	
(5) スタッフ	
(6) 使うもの	<ul style="list-style-type: none"> ●紙芝居『多言語で楽しむおはなし 十二支のおはなし』と別冊の多言語翻訳 http://www.mief.or.jp/jp/mief_kyozai.html ●『うさぎのダンス』(作詞：野口雨情、作曲：中山晋平)の音源(またはオルガンなどで演奏する) ●おはなしに出てくる動物の絵カードを2枚ずつ用意する(絵カードも上記ホームページよりダウンロードできます)。 ●必要に応じて保護者等へのアンケート
(7) その他注意することなど	<ul style="list-style-type: none"> ●『うさぎのダンス』の歌/手遊びを練習しておく。 ●会場が狭い場合は、ゲームの際に子どもたちが怪我をしないように、ゆっくり歩いて正解のところに行くように指示する。前で絵カードを見せ、子どもたちは自分たちの席でゲームに答えるようなかたちでも良い。

B 活動の流れ

時間の目安	活 動	話すこと、すること(必要に応じて、通訳する)	補足・注意点
開始前	会場の準備	会場に、動物の絵カードを1枚ずつ貼っておく。できるだけ、それぞれ離れた場所にする。	
0:00	① 始まりのあいさつ	こんにちは。 今日は紙芝居を読みます。それから、ゲームをしましょう。	
0:01	② 導入	みなさん、十二支を知っていますか。 日本では、1年ずつ動物の名前がついています。全部で12あります。今年はうさぎです。 うさぎの歌で踊りましょう。	紙芝居の表紙を見せる。
0:03	③ 歌/手遊び	みんなで歌いましょう。『うさぎのダンス』です。	♪ うさぎのダンス 🕒 90秒×2回
0:08	④ 動物の名前を紹介	動物の名前を日本語と〇〇語で言ってみましょう。 これは“ねずみ”です。 〇〇語では? (子どもたちが答える) 子どもたち:「〇〇」 日本語で“ねずみ”です。 子どもたち:「ねずみ」 〇〇語で… 子どもたち:「〇〇」 これは“ねこ”です。 〇〇語では? (子どもたちが答える) 子どもたち:「〇〇」 ※他の動物の名前についても以下同様に	動物の絵カードを見せる。 日本語担当スタッフと〇〇語担当スタッフが交互に言って、子どもたちに言わせる。 他の動物についても、名前を2言語で確認する。
0:15	⑤ おはなし	いろいろな動物の名前が出てきましたね。今から紙芝居を読みます。	日本語⇒〇〇語の順で、一枚ずつ読む。

時間の目安	活 動	話すこと、すること(必要に応じて、通訳する)	補足・注意点
0:30	⑥ふりかえり	『十二支のおはなし』はどうでしたか。 楽しかったですか。	感想や気づいたことを聞く (難しければ省略)。
0:35	⑦動物の 名前当て ゲーム	見てください。あちこちに動物の絵があります。 今から、動物の名前を言うので、その動物の絵の ところに集まってください。 【例】 ねこ さる(〇〇語で)	会場に動物の絵が貼ってあ るのを見せる。 動物の名前を日本語と〇 〇語の両方と言って、その カードのところに集まって もらう。
0:40	⑧動物の 鳴き声当て ゲーム	これから動物の鳴き声をまねします。何の動物で しょうか。わかったら、動物の絵のところに集まっ てください。 【例】 うし「もおおお」 とら「がおおお」 馬「ひひーん」 ひつじ「めえええ」 さる「うきー」 犬「わんわん」 にわとり「こけこっこー」 など	自由な順番でまねする。
0:45	⑨終わりの あいさつ	楽しかったですか。 今日はこれで終わります。 また会いましょう。	子どもたちの保護者や 学校の先生などがいれば、 アンケートを配布する。

ヒント

- 「②導入」で干支入りの年賀はがきや干支入りカレンダー、干支グッズを見せるとわかりやすいです。
- 時間があれば、年賀はがきを作る活動も楽しいです。ぬりえだけで完成するような、簡単なものがおすすめです。